

令和 3 年度事業報告

(令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日)

令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染拡大の波が前年度から断続して押し寄せ、過去に例を見ない感染者数を記録しましたが、コロナとの共存を目指す経済活動も徐々に動きだしてきました。

こうした中、寄居町シルバー人材センターへの発注は、施設の臨時休館や企業等の業務縮小など、一部で厳しい状況もありましたが、感染拡大が長期化する中でも経済活動を止めない「ウィズコロナ」戦略に転ずる動きも見られ、令和 2 年度に比較し若干の持ち直し傾向が見られました。

結果として、請負・委任事業の受注件数は、公共 139 件（前年度比 6.9%増）、企業等 275 件（前年度比 18%増）、個人 1,484 件（前年度比 0.6%減）、合計 1,898 件（前年度比 2.2%増）、契約金額合計は 174,603,640 円（前年度比 4.8%増）となりました。

また、派遣事業の受注件数は、前年度と同数の 24 件で、契約金額は、29,345,959 円で前年度比 1.2%の減となったところであります。なお、派遣事業は決算上、手数料収入のみを計上しております。

1 安全・適正就業の推進

安全・適正就業委員会を開催し、発生した事故の原因分析やその防止方法を検討するとともに、現場巡視を行い具体的な安全確保の徹底を図りました。

また、安全・適正就業だよりを発行し、会員の健康管理や就業時の事故防止の啓発活動を実施しました。

さらに、植木・草刈班を対象とした安全教育を 4 月と 10 月に行い、事故防止等に努めるとともに、チェーンソー作業従事者特別教育講習会に 2 名が参加し、技術と知識の向上に努めました。

なお、交通安全事業は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から講習会形式をとらず、リーフレットの配布により交通安全意識の醸成を図りました。

以上のとおり、各種安全対策を講じましたが、令和 3 年度においては、除草作業中の飛び石等による車両破損 2 件が、賠償責任保険の適用を受ける結果となりました。引き続き、事故ゼロに向けて安全就業の推進に努めてまいります。

2 会員の入会促進

入会説明会を毎月2回開催したほか、「広報よりい」への募集記事掲載、リーフレットの備え置き、埼玉県シルバー人材センター連合実施の会員拡大キャンペーンへの参画などにより、会員の入会促進に努めました。

結果、令和3年度の入会者は59名（男性43名、女性16名）、加齢や病気、家庭の事情などによる退会者は33名（男性27名、女性6名）で、令和3年度末の会員数は前年同期と比較し26名の増加となりました。

3 就業機会の拡大

コロナ禍の厳しい状況にありましたが、企業訪問等により就業機会の拡大に努め、新規・拡充で5社との契約締結に至りました。

また、一般労働者派遣事業の拡充に努めるほか、寄居町が設置した協議会へ引き続き参画し、社会福祉関係団体との連携による福祉・家事援助サービスなどの可能性についても検討しました。

4 公平な就業機会の提供

会員に毎月郵送している配分金通知に求人情報を同封するとともに、事務所掲示板にも情報を掲出するなど、公平な就業機会の情報提供に努めました。

5 シルバー事業普及啓発の推進

当センターホームページの内容更新をはじめ、お知らせ記事や会報等を掲載することにより、その有効活用を図るとともに、センター事業の普及啓発に努めました。

併せて、「シルバーだより」の発行や「名入りカレンダー」の作成配布などによりセンターの周知に努めました。

なお、秋に計画した鉢形城公園・雀宮公園のボランティア除草作業は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止といたしました。